メタリストを応援するネットワーク情報誌

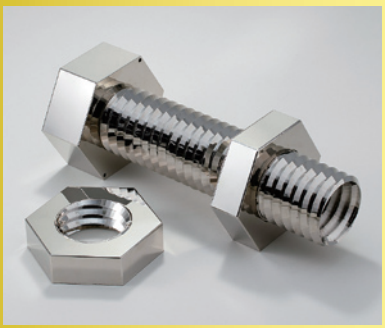
シートメタル 九州

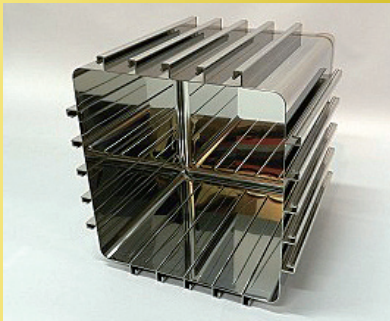
Sheet Metal KYUSHU

2015夏号
第42号

CONTENTS

特　集
補助金の活用 …… 2
企業探訪
第41回
㈱樫本商店 …… 5
工業会からのお知らせ
板金技能検定合格者発表 …… 6
第18回　定期総会開催 …… 8
第27回アマダ優秀板金技能フェア表彰式 … 9
正副会長会の青年部活動報告に2年連続で参加して … 10
マイブーム
新天地にて新メンバーとの出会い … 11
トピックス
新規取組事業 …… 12
編集後記 …… 13





特集 補助金の活用

（1）補助金ってどんな制度？

①特定の目的やテーマに対して支払われる資金

補助金とは、国が特定の目的やテーマを設定し、その内容に沿った事業計画を策定したり、一定の条件を満たしたりする場合に補助される資金のことをいいます。この資金は税金で支払われます。

「ものづくり補助金」であれば、ものづくりをする企業を支援する補助金になります。それに対して、補助金を利用した人や企業は、国が準備したフォーマットに沿って事業計画を立案・提出し、採択される必要があります。採択を受けると、補助金を利用することができます。

いろいろな補助金がありますが一般的なルールとして補助金は清算払いとなっています。

企業が先に事業に必要な費用を支払って、事業計画終了後に使った費用の一定割合（3分の2や2分の1など）が戻ってきます。先に補助金を貰えるわけではありません。これは、すべての企業が事業計画を順調に完了させるわけではないということや、補助金を貰うだけもらって事業を遂行しないということを避けるためではないかと想定されます。

②採択（審査）がある

補助金には必ず予算があります。例えば、「A補助金には100億の予算を充当し、1社あたり最大1,000万円を補助します」という補助金制度があったとします。その場合、100億円÷1,000万円＝1,000社が補助金の対象となります。この「1,000社」という上限に対して、2,000社の応募があった場合、半分の企業しか補助金を使うことができません。その1,000社を決めるために審査があるというわけです。より目的やテーマに沿ったものや実現性、収益性の高いものが採択されることになります。

ちなみに、募集期間内に十分な数の募集があり、採択数（合計額）が予算に達するとその補助金は終了します。一方で、採択数を合計しても予算に達していない場合は、第2回、第3回の募集が継続されることもあります。

③報告書を数年に渡り提出する義務が生じる

補助金は貰っておしまいというわけではありません。補助対象事業が終了した後も事業完了報告や数年に渡って事業報告を提出する必要があります。補助金は税金ですから、補助金が適正に使われ、事業が適切に行われているかということを報告するのは当然のことと言えますね。

④補助金の価値

例えば、1,000万円の補助金を貰ったとします。法人税を40％とした場合、1,000万円の税金を支払うためには、2,500万円の利益が必要になります。利益率を10％とした場合、2,500万円の利益を生み出すには2億5,000万円の売上が必要です。つまり、1,000万円の補助金には2億5,000万円の価値があるといっても過言ではありません。このように、「1,000万円」といっても、我々の大切な税金が使われていることを肝に銘じて、価値ある補助金を有意義に使うべきです。

（2）ものづくり補助金（平成24年度・25年度・26年度補正予算）の流れ

多くの製造業が活用した補助金です。補助上限金額が1,000万円（3分の2補助）という魅力的な補助金です。

①かなり面倒な申請手続き

簡単に補助金申請の流れをお伝えしておきます。実際には非常に面倒な手続きが必要です。

②説明会

ほとんどの補助金は実施前に説明会が開催されます。国にしてみると補助金がまっ

たく活用されず予算が残ってしまうのは具合が悪いです。担当者は評価にも影響するでしょうから、説明会では詳細な資料が準備され、数回に渡って開催されることが多いです。

③申請の手引きの熟読

補助金制度ごとに「申請の手引き」が準備されます。補助金の目的や概要、事業の例示、充当できる費用などについて詳細に記載されていますので、そちらを熟読して進める必要があります。

④申請書の作成

採択されるよう申請書をしっかりと作成する必要があります。申請書上で詳細をまったく知らない審査員を納得させるような内容を提示できないのであれば、計画は不十分ではないかと思います。

申請書については必ず雛形があります。場合によっては記載内容の概要を明示してくれている制度もありますので、その点はご安心ください。

⑤採択

補助金制度によってバラつきはありますが、ものづくり補助金は採択率が40％程度でした。いずれにしても、試験の合格発表を待つような心境ですが、企業側でできることはありませんので、採択されるように祈りましょう。

⑥交付申請

通常、交付申請では申請段階よりも具体的な内容を交付申請書に記載することが多いです。例えば、試作品の外注であれば外注先などを記載することになります。

⑦途中報告（遂行状況報告書）

補助対象事業の途中経過をする必要があります。こちらについても雛形がありますので、そちらを利用してください。

⑧終了報告（事業完了報告書）

補助事業が終了すると終了報告をします。その際、実際に使った経費の明細や発注書、入金証明書などを一緒に提出します。書類に不備があると補助金が支払われないケースもありますので注意が必要です。採択されるとコーディネーターの方がチェックをしてくれるので相談すると良いでしょう。

（3）活用するにあたって

①目標には２つの観点がある

補助事業を計画通りに進めるにあたり重要なことは、自社の目標を明確にすることです。

まず、「補助金を活用するにあたっての目標」です。ものづくり補助金でいえば、どのような試作品を開発し、どのような設備を購入するのかということです。

次に、中長期的な経営目標です。試作品開発ということは、当然その先には「新商品の製造・販売」があります。設備投資であればコスト削減や納期短縮などがあるでしょう。

つまり、「自社の経営目標」に沿った内容であるかどうかということも非常に重要な観点になってくるのです。

この２つを明確にし、補助金の活用を検討していきましょう。

申請書作成を専門家に依頼する場合、専門家によってさまざまな報酬体系がありますが、一番多いのは「成功報酬○○％」という形式です。申請書を提出し採択された額に応じて成功報酬を企業が支払うことになります。

②申請書の概要

補助金の目的、自社の目標、補助金の活用方法の３つを明確にできた場合は、是非、補助金の活用を検討してみてください。

以下は平成26年度に実施された「ものづくり補助金」の申請書の項目の抜粋です。

- 事業計画名（30字程度）
- 事業計画の概要（200字程度）
- 事業の具体的な内容
  - ・将来の展望
    （本事業の成果の事業化に向けて想定している内容及び期待される効果）
  - ・主な工程ごとのスケジュール
  - ・試作品の開発や設備投資の具体的な取組内容

実際の申請書は、企業概要や財務諸表なども必要になり、補足資料などを付け足すと、おおよそ15～20ページくらいになるのが一般的です。ページが多ければ良いというわけではありませんが、「事業の具

体的な内容」については、書き方によってページ数が大幅に異なってきます。写真や表・グラフなど色鮮やかに作成したほうが、見やすくて喜ばれるようです。

(4)着目ポイント(採用されやすい要件)

①収益性

国は税金を使って補助金を支払うわけですから、補助事業に対して「収益性」を重視します。企業の収益が増えれば法人税が増え、巡り巡って国の税収が増えるわけです。

収益とは、売上、コスト、利益のバランスです。これらのバランスが保たれているか？絵に描いた餅になっていないか？ということが非常に重要視されます。

②新規性

特徴がない事業は採択されにくいです。裏を返すと「新規性」が必要ということになります。国は「頑張る企業」を応援します。その具体的な例が雇用だったり、新規性だったりするわけです。新規性とは、「今の世の中にない」と捉えてください。

「従来と比べて○○」という観点でも十分なケースがあります。「従来よりも小型」ということは、今の世の中に小型品はないということですから、十分、新規性を兼ね揃えることになるのです。

新しいことに挑戦し頑張っている企業を国が応援するのは言うまでもないことです。

③その他の要件

補助金によっては、必ずしも新規性の要件を満たさなくても良いケースがあります。例えば、同じ商品を作っている場合でも、「設備導入により従来よりも納期を1日短くすることができる」といった短納期対応や、「設備導入により工場の二酸化炭素排出量を5%削減できる」いった環境対応などが要件の場合もあります。

補助金の目的を十分に調査し、自社に合致するかどうかを検討してみてください。

また、審査をする人達が、必ずしもその補助金の分野のプロフェッショナルではありません。素人でもわかるように申請書を作成する必要があります。自社にとっては当たり前のことであっても、一般的には知られていない言葉や技術は多々あります。

場合によっては、用語の説明を加えたり、技術の説明を細かにしたりする必要もあります。

対応策としては「学校の先生に対するプレゼンテーション」と考えてみるのも一つです。学校の先生は生徒に知識を教える職業ですから、一定の理解力や読解力があります。しかし、特定の業界についての知識は持ち合わせていないケースが多いです。

その学校の先生が十分に理解し、「この事業は面白そうだ（儲かりそうだ)。」と感じてくれるくらいの内容で申請書作成したほうがうまくいくケースが多いです。どこまで詳しく書いたら良いか迷った時は、1つの指針にしてください。

それと補助金の採択に必要な最大のキーワード（ルール）は「ストーリー性」です。補助金を申請する場合はストーリー性を重視して申請書を作成してみてください。

ご利用できそうな補助金などを下記にご紹介させていただきます。興味がわいたらインターネットで検索してみてください。

補助金＆支援事業ご案内

- ものづくり・商業・サービス革新補助金（平成26年度ものづくり補助金）
- 小規模事業者持続化補助金
- 地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金
- ふるさと名物応援事業
- 中小企業販売力強化支援事業
- 中小企業・小規模事業者海外展開戦略支援事業
- セーフティネット貸付
- 省エネルギー促進融資
- 事業承継税制
- 中小企業等に係る法人税の軽減率の延長

〈植木 剛彦　株式会社ナダヨシ〉

企業探訪

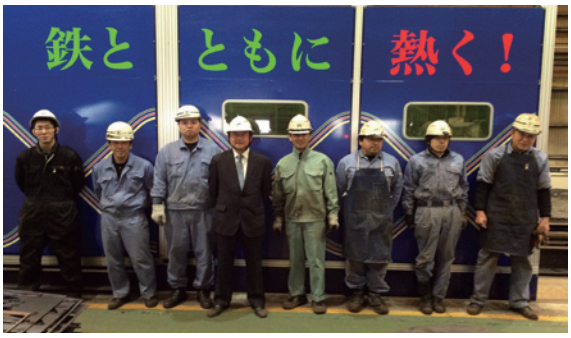
第41回

㈱樫本商店

第41回の企業探訪は一昨年、当工業会へ入会されました㈱樫本商店を訪問し、代表取締役　濱屋慎吉様にお話を伺いました。

～鉄と共に、熱く、強く、しなやかに～

㈱樫本商店は1949年に個人創業（主に製鉄原料を取り扱う）。その後レベラー加工、丸鋼圧延加工、素材販売等、時代に即した経営を行う。1993年現社長就任後はプラズマ切断機、レーザー切断機を次々導入し、鋼板の加工販売に力を入れ、2013年から14年にかけファイバーレーザー3台を導入し鋼板切断業界の最先端を走っている。



Q：シートメタル工業会入会の意味と期待

A：入会のきっかけはアマダ製のファイバーレーザー導入ですね。その時紹介していただき，人材育成ができる工業会だと思い入会を決めました。昨年より研修会に社員を派遣しレベルアップに努めています。現在の弊社はデータ製作がネックとなっているので研修によりプログラムの実力を上げ、今までの経験値をデータ化（見える化）していきたいと考えています。また、板金検定試験の合格も目指していきたいと思っています。

Q：今後の展望や夢

A：切断では、ファイバーレーザーがありますので非鉄への広がりを模索しております。最終的にはアクリルまで切れるよう挑戦していきたいと思っています。

それと、切断だけではなく社内で溶接、組立とお客様のニーズにこたえる体制を整えていき、一体物の受注ができるよう努力していきたいと考えています。

筆者は10年ぶりに樫本商店を訪れ、大きな変化に驚いた。厚板切断、レベラー加工の会社であった当社が大きな変化を遂げていた。私見ではあるが、何トン、何十トン単位の仕事から一個単位の仕事への転換はなかなかできないように思うし、なかなか例を見ない。社長の言葉を借りると「時代の流れを読み、自然の流れの中で足元を固めている最中です」とのこと。勉強になりました！

〈安永 修　㈱ヤスナガ〉

会社概要
称　号：株式会社　樫本商店
代表者：濱屋　慎吉
住　所：北九州市若松区安瀬１－２３
ＴＥＬ：０９３－７５１－６２１１
ＦＡＸ：０９３－７５１－６２１２
設　立：1974年（1946年創業）
従業員：32名
ＵＲＬ：http://kasimoto.co.jp/

板金技能検定合格おめでとうございます！

平成 26 年度の板金技能検定が 2 月 77 日に行なわれ、下記 23 名の方が合格されました。

検定前講習や、各受験者の努力の成果があって、難関を突破され、見事に技能士の称号を手に入れられました。また今回は昨年に引き続き㈱鐘川製作所の二宮敦士様、㈱三松の天目浩平様が特級に合格されました。

板金技能検定　合格者

特級工場板金		
級	氏　名	事　業　所
特級	二宮　敦士	㈱鐘川製作所
特級	天目　浩平	㈱三松

工場板金　数値制御タレットパンチプレス		
級	氏　名	事　業　所
1 級	河波　昌邦	㈱三松
1 級	飯干　惣仁	㈱ナダヨシ
1 級	安永　良一	㈱ヤスナガ
1 級	待鳥　大地	㈱田名部製作所
1 級	福井　淳治	㈱三藤製作所
1 級	宮原　和正	㈱鐘川製作所
1 級	星野　秀之	㈱三松
2 級	古木　信一	八祥産業㈱
2 級	大野　雅弘	㈱三松
2 級	壬生　光亮	㈱三松
2 級	上野　　涼	㈱三松

工場板金　機械板金		
級	氏 名	事　業　所
1 級	西田　英明	㈱鐘川製作所
1 級	吉田　雄一	㈱ナダヨシ
1 級	古賀　卓也	㈱ヤスナガ
2 級	片野　崇司	㈱西日本電機器製作所
2 級	秋丸　辰郎	㈱鐘川製作所
2 級	長畑　純一	㈱鐘川製作所
2 級	山下　敬祐	㈱鐘川製作所
2 級	木村　和広	㈱三松
2 級	野田　智広	㈱西日本電機器製作所
2 級	松﨑　智也	㈱鐘川製作所

合格者のコメント

特級工場板金合格
二宮 敦士　㈱鐘川製作所

今年の１月から、管理職に就くにあたって、事前に自分で勉強出来ることはないか？と考えた事がきっかけでした。

実際に勉強を始めると、初めて聞く言葉や似たような言葉が多く、解らない事だらけでしたが、一つ一つ意味を調べたり、何度も教科書を読み返したりして、仕事中の場面と重ね合わせながら、少しずつ理解していきました。

まだまだ実践が足りませんが、１級、２級の合格で自信をつけた様に今回の特級合格を新たな自分のスタートとして、仕事の中でフル活用しながら自分と部下の成長に生かしていきたいと思います。

特級工場板金合格
天目 浩平　㈱三松

特級は管理者の知識が出題範囲となります。

業務での実践や、管理者研修などで学んだ経験もありましたが、初めて聞く用語や理解が曖昧な部分があり苦労しました。

試験勉強を通じて、業務で必要とされる知識を向上させることができました。

その知識を業務に活かしていきたいと思います。

工場板金　機械板金
１級合格
吉田 雄一
㈱ナダヨシ

技能検定を終えて

技能検定に合格でき嬉しく思います。又、安堵感もあります。

まず、講習を受けさせてもらい、弊社では行わない加工､聞いたこともない事柄等､様々なことを知ることができました。

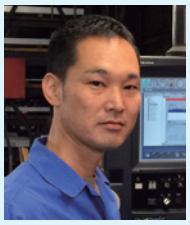
勉強していく中でわからないことは講師の先生に聞いたり､スマホで調べたりしました。

理解していくと楽しくなりました。また日頃からベンダーを使用しており、周囲から合格して当然と思われているのではと勝手にプレッシャーを感じ、プライドもあり正直不安でした。今回得た知識を今後のものづくりに役立てたいと思います。

最後に受験する機会を与えてくださった会社に感謝するとともに、頑張った自分をほんの少しだけ褒めてあげたいと思います。

工場板金　機械板金
２級合格
片野 崇司
㈱西日本電機器製作所

学科試験は出題範囲が広かったですが対策講習の内容を中心に学習し合格することができました。いままで知らなかった機械の構造や種類についても学ぶことができたいへん役立ちました。



工場板金
数値制御タレットパンチプレス
１級合格
福井 淳治
㈱三藤製作所

入社して、プレス、タレパン、製缶と色々経験して来ましたが、まだまだ知らない事が沢山あり勉強になりました。１級に合格するまでに勉強して来た事を今後の仕事に役立てて行きたいと思います。最後になりますが仕事の忙しい時期に時間を作り、プログラムの指導をして頂いた上司、先輩、後輩と、休日に工場を使わせて頂いた会社に感謝いたします。有り難うございました。

工場板金
数値制御タレットパンチプレス
２級合格
古木 信一
八祥産業㈱

板金技能検定前講習会を受講した時は、初めて聞く言葉や見たこともないような機械の説明があり、不安でいっぱいでした。

過去の問題集などを集中的に勉強し、なんとか学科試験はクリアできました。

実技の方は、会社の AP100 とタレパンで作業者に教わりながら実際に作業をさせてもらったので思い通りに試験に挑めました。

かなり緊張しましたが、合格できて嬉しかったです。

第18回　定期総会開催

4月18日、ホテルセントラーザ博多にて39社64名の会員出席により第18回定期総会が開催されました。

田名部会長の挨拶から始まり、議長を務められた安岡副会長の議事進行のもと第1号議案、平成26年度議事報告、企画推進委員会事業報告。第2号事案、平成26年度収支決算報告がありました。

続いて、第3号議案、平成27年度事業計画（案）企画推進委員会事業計画（案）第4号議案平成27年度予算計画(案)が報告されました。

また、昨年に引続き企画推進委員会の新規取組事業として展示会開催後の共同受注・共同製作のしくみについて調査すべく、異業種京都試作ネット、新潟の磨き屋シンジケートに訪問を予定しているなど、工業会の製品アピール及び共同受注・共同製作を目的とした事業展開報告等もあり、審議の結果、拍手をもって承認されました。

続いて、平成26年度板金技能検定合格者の発表と第27回優秀板金製品技能フェアの表彰が行われました。

技能検定合格者の発表では、23名の方が合格され、うち2名が昨年に引続き特級に合格するなど受験者のレベルが上がってきています。

板金製品技能フェアの表彰では、『厚生労働大臣賞』に㈱ナダヨシが受賞。また、組立品の部で銀賞、高度溶接品の部で銅賞を受賞。

『経済産業大臣賞』はシンエイメタルテック㈱が受賞。

造形品の部では、ナサ工業㈱銅賞、今回より新設された『板金名人賞』に㈱田名部製作所が受賞するなど、九州の企業の活躍が目立ちました。

第2部では、九州大学ビジネススクール教授高田仁氏による『自社を存続し成長させる戦略と行働様式』と題した記念講演が行われ、イノベーションの特性『Sカーブ』新しい革新技術を見出すことの重要さや、『アントレプレナーシップ』を発揮し、先入観や固定観念を取り払う事で新しい事業機会を素早く展開し、創造的にゴールを変動させ価値を生み出すなど、熱く語られ、経営のヒントとして有益となる貴重な時間を頂き、閉幕となりました。

第3部の懇親会では、講演会での話題や業界での話題また、近況報告など活発な意見交換で盛り上がり無事に閉宴となりました。

〈中村 充徳　㈲中村製作所〉

第 27 回アマダ優秀板金技能フェア表彰式

3 月 7 日(土)アマダフォーラム 246(神奈川県伊勢原市)にて、第２７回アマダ優秀板金製品技能フェア表彰式が行われました。

今回、九州シートメタル工業会では株式会社ナダヨシ様の作品「240 面体」がみごと厚生労働大臣賞に、シンエイメタルテック株式会社様の作品「ボルト、ナット M200」が経済産業大臣賞を受賞され、心よりお祝い申し上げます。また、株式会社田名部製作所様の作品「水車」が板金技能名人賞を受賞されました。

九州の受賞作品は以下の通りです。

経済産業大臣賞
シンエイメタルテック㈱
ボルト・ナット　M200

厚生労働大臣賞
㈱ナダヨシ
240 面体

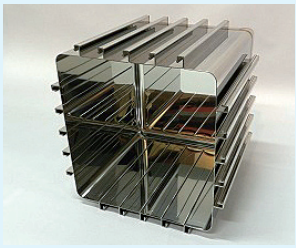
板金技能名人賞
㈱田名部製作所
水車

組立品の部　銀賞
㈱ナダヨシ
パスＢＯＸ

高度溶接品の部　銅賞
㈱ナダヨシ
選手用水風呂（1/４モデル）

造形品の部　銅賞
ナサ工業㈱
M100 六角ボルト・ナット

造形品の部　技能賞
㈱鐘川製作所
ルビンのつぼ



組立品の部　技能賞
ナサ工業㈱
差込式タンク

来年もまた、たくさんの出品をお待ちしております。

板金製品技能フェアー　大臣賞受賞コメント

厚生労働大臣賞を受賞して

このたびは「240 面体」が厚生労働大臣賞をいただき、社員一同、驚きと感謝の気持ちでいっぱいでございます。ありがとうございます。形のイメージはあったのですが、1 枚の板で展開して製作してみたいと考え、挑戦しました。

苦労した点は曲げ角度のデータを出すところです。

3 次元 CAD 図を作成し、それを元に角度ゲージを製作いたしました。

一度溶接してしまうと微調整がきかなくなるので、精度の高さが求められました。

単体品の部として評価は別なのでしょうが、台座の形と仕上がりはお気に入りです。

2 年前に大臣賞をとるぞー！と、あてもなく口にした目標が実現して本当に嬉しいです。

また複数受賞という栄誉にもあずかり喜びも 2 倍、3 倍です。

このような素晴らしい賞をいただけましたことは、会社全体、社員みんなとその家族のがんばりと協力の賜物と感謝しております。また九州シートメタル工業会の中でアドバイスをいただいたり、切磋琢磨したりできていることも一因であると思い感謝しております。本当にありがとうございました。

植木 剛彦　㈱ナダヨシ

全国シートメタル工業会正副会長会 青年部会活動報告発表会に２年連続で参加して

発表の様子

発表の資料（表紙）
委員会メンバーひとりひとり
の写真を使用しました。

１月 17 日、アマダフォーラム 246 にて、全国シートメタル工業会正副会長会が行われました。昨年からこの正副会長会のプログラムに、工業会の青年部会が活動報告をするコーナーが設けられ、昨年は群馬，長野と私たち企画推進委員会が発表しましたが、今年は愛知の青年部会と、なぜか２年連続で私たち企画推進委員会が発表することになり、ナダヨシの植木専務と筆者（ナサ工業 長澤）で発表してきました。ここでは、愛知の青年部会活動内容のご紹介と、企画推進委員会の報告内容についてお伝えします。

〈愛知県精密板金工業会青年部会【葵】〉

「工業会会員企業の繁栄と業界の発展のため、会員の若手経営者、後継者及び幹部社員等の育成と向上を目指し、企業・技能・経営などに関わる諸問題を研究し、企業の継続発展をはかる。」という目的のもと、17 名で活動されています。

平成 26 年度の活動方針「企業の安定した継続と成長と競争力アップ」に即したテーマで、6 回の勉強会と２回の経営者向け講演会を実施したほか、他の工業会との交流会（千葉の青年部工場見学）や展示会見学（JIMTOF）など、積極的に活動されています。経営者向けの講演会は、当工業会でも企画しては良いのではと感じました。

〈九州シートメタル工業会　企画推進委員会〉

昨年同様、九州シートメタル工業会の設立趣旨・沿革と、企画推進委員会の沿革、役割、今年度活動実績について、九州独自の取り組み（板金い・ろ・は研修等）や板金技能フェア参加のメリットについての説明を交えて報告しました。加えて、工業会設立 20 周年に向けた新規取組事業として一年間活動した、展示会への共同出展（上海、福岡）やパンフレット作成についても報告しました。

全国 25 の工業会の正副会長、工業会事務局、アマダの役員・社員の方々、総勢約 100 名を前にしての発表でしたが、２度目ということもあり、昨年ほどは緊張せずうまく伝えることができたのではないかと思います。発表後の懇親会では、工業会正副会長の方々よりお褒めの言葉をいただいたり、ご質問いただいたりと大変関心を持っていただき、とてもありがたかったです。

今回、２年連続での発表となりましたが、私たち企画推進委員会の活動が、他の工業会青年部の活性化の一助となれば光栄です。

〈長澤 敏光　ナサ工業㈱〉

愛知の青年部会「葵」のお二人

★マイブーム★

新天地にて新メンバーとの出会い

はじめまして。株式会社アマダの内田と申します。先日、初めて九州シートメタル工業会の企画推進委員会に出席した折に、光栄にも仰せつかったこのマイブームを担当させて頂きます。

私は5歳からサッカーを始め、26歳になるまで21年間サッカーを続けています。両親を除いて、一番長い付き合いをしているのがサッカーといっても過言ではありません。少年時代からサッカーを通じて一生の仲間を作ることができ、今では生活の大事な一部となっています。

中央オレンジ色のユニフォームが筆者（内田）です。

その中で昨年秋、九州に配属して2日目に、企画推進委員会の植木専務（㈱ナダヨシ様）にご挨拶に立ち寄った際、その週末のサッカーのお誘い受け、飛びつくように専務のチームに混じって参加してきました。（写真はそのときの集合写真です。）サッカーを続けてきたお陰で、新しい環境にいても、このように臆することなく飛び込むことができ、その中で自分自身が一番楽しめるので、仲間をたくさん作ることができるのだと思います。

サッカーの最大の魅力は、一緒にプレーする仲間が誰であれ、「自分（達）を表現することができる」ことにあると思います。各選手が「自分はこうしたい」というプレーのイメージを持っており、各自がそれを達成するために動きます。但し、全員が同じイメージを持っているとは限らないので、言語・非言語のコミュニケーションでイメージを共有するためにアクションを起こします。結果的にそれぞれの意図が共有化され、全員が噛み合って動き始めたとき、全員が主役になって目標である「勝利」を勝ち取ることができます。

これこそまさに、チームプレーの醍醐味ではないかと思うのです。仕事でも趣味でもこうして、ビジョンを共有でき、それに向かって意思疎通ができる仲間をどんどん増やしていければと思います。

〈内田 聡　㈱アマダ〉

3社交流戦「ブラジルフットサルパーク新宮」にて

TOPICS

九州シートメタル工業会　新規取組事業の継続

3 年後の当工業会設立 20 周年に向けた新規取組事業として、各会員企業の人材教育や製品のアピール及びグローバル展開の基礎作りを目的に、昨年度は中国の上海とマリンメッセ福岡の展示会に共同出展し、ある程度の成果を得ることができました。

本年度も事業継続し、①工業会のアピール及び新規会員勧誘を目的とした、ものづくりフェア（マリンメッセ福岡）出展、② 28 年 6 月の機械要素技術展（東京ビックサイト）出展に向け、共同受注の仕組み構築を目的とした工場視察（京都、新潟）を実施します。

①マリンメッセ福岡の展示会出展

目　的　工業会のアピール及び新規会員勧誘を目的とする	
1	展示会名　マリンメッセ福岡（福岡市博多区沖浜 7-1） 会　　期　○平成 27 年 10 月 14 日（水）～ 16 日（金）3 日間 ・3 日間　10：00 ～ 17：00

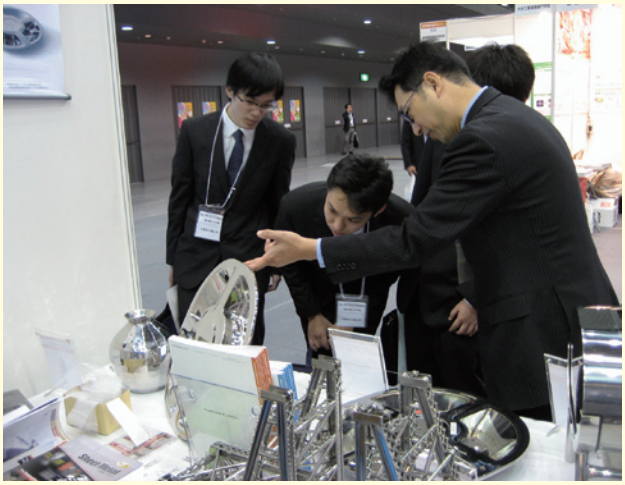
② 26 年度の問題点である展示会開催後の共同受注・共同製作のしくみについて調査し明確なルール作りをする。

・異業種京都試作ネット、新潟の磨き屋シンジケート等に訪問し、内容を把握

・28 年 6 月開催の東京ビックサイト機械要素技術展に、参加会員にて出展。

目　的　工業会の製品アピール及び共同受注・共同製作を目的とする	
2	展示会名　第 20 回　機械要素技術展（東京ビックサイト） 会　　期　○平成 28 年 6 月 22 日（水）～ 24 日（金）3 日間 ・3 日間　10：00 ～ 17：00

なお、ビッグサイトの出展に賛同される方は事務局まで連絡をお願い致します。



TOPICS コーナーは、編集委員以外の多くの会員様の意見や写真を掲載していきたいと思います。掲載ご希望の方は、事務局まで！

編 集 後 記

先日リレーマラソン（42.195 ㎞を 10 人以下で走る。1 周 2 ㎞）なるものに挑戦することになりました。シューズを買い、スパッツを買い、買っちゃったんだからと仕方なく自分を追い込んで練習を始めました。サッカーは好きなのですが、長距離走は苦手なもので、なかなか練習するのに腰があがりません。だったらフットサルをしてスタミナをつけようと思って個サルに参加してみたら…やっちゃいました肉離れ。結局大会にぎりぎり間に合ってチームは無事完走できました。しかし整骨院の治療代はマラソングッズ代をはるかにしのぐものとなりました。普段の運動の大切さが身にしみました。

〈植木 剛彦　株式会社ナダヨシ〉

今回の表紙

技能フェア表彰式。アマダ本社 FORAM246 の中庭にての記念撮影です。小雨と北風の中、いい笑顔です。

2 年前にも吹き荒れた九州旋風ふたたび！という形で第 27 回アマダ優秀板金製品技能フェアは九州勢が上位を占め、全国に九州の技術力の高さを更にアピールすることとなりました。年々レベルがあがり外国からの出品が増える中での好成績は素晴らしいことです。

まだ出品されたことのない方は、自社で苦労した仕事をフェア用に製作してみると評価が高い傾向にありますので、ぜひ今年出品してみてはいかがでしょうか？

シートメタル 九州　第 42 号
（九州シートメタル工業会会報）

発行日　平成 27 年 5 月 25 日
発　行　九州シートメタル工業会
事務局　株式会社アマダ 九州支店
〒 816-0912　福岡県大野城市御笠川 1-9-4
TEL 092-580-8570

九州シートメタル工業会　ホームページ　http://www/kyushu-sma.gr.jp
ホームページアドレス・メールアドレスを変更された会員の方は、事務局までご連絡下さい。